

【22_302技術系メルマガ】同じチャートも『見方』を変えると(検証のやり方2)

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

先日の『検証のやり方』のメルマガ、なかなかの反響がありまして(ありがとうございます)

分けて書こうと思って取っておいたもう一つのテーマを、急遽連続で出すことにしました。

先日のメルマガの要点は、同じチャートを分析したとしても、1回目の検証と

時間を置いてもう一回やる検証とでは、そこで認識できる情報というのは僅かながら変わる

(より精度は良くなっていく)もの。

▼参考ツイート▼

https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1584718907515932672?s=20&t=hDe1N0MhN_5nhOKp43C7Ww

なので、繰り返し同じチャートを見て、気付いたことをメモしていくという検証は非常に学習効果が高いという話でした。

ですが、これだけだと概念的で抽象度が高い話のまま終わってしまうので

今日はこれにもう少し『具体』を付け足してみようと思います。

□
■ 注目するテーマを『細分化』する

例えばの話として、今自分がこれからあるチャートを検証する事をイメージしながら

先の文章を読み進めてみてください。

あなたは今、GBPUSDの過去チャートで直近1か月分を検証しようとしています。

1回目の検証では、『H1/20SMAのグランビルで目線を捉え、M15-M5足のMA収縮』に注目して大きく動く場面のチャートを見る検証をひとつおりました。

1週間後くらいに、同じ期間のGBPUSDをもう一度開きます。

ここではまた注目するポイントを少し変えて

『前回、良いポイントだと思ったところで、実際エントリーする時にどこで入り、どこで利確 / 損切りするか』を

実際に線を引きながら見て行きます。

この時、前回の検証で『綺麗な収縮ポイント』はある程度アタリを付けているはずですからそれを活用してもOKです。

逆に「なんか微妙だなあ、ここは」と思うポイントがあれば

そこで自分が『微妙だ』と判断した理由を言語化してみたりする。

こういった、言語化を伴う検証は、チャート1枚ごとに結構時間がかかるものなので時間があるときにじっくりやると良いでしょう。

何個もチャートを見ているうちに、次第に『良い』と思う、逆に『微妙』と思う共通の理由が見えてきたら

それは、皆さんそれぞれにとっての『チャートに対する一貫した認識』を得るための核になる可能性が高いです。

このような自分の中での『なるほど、そうか！』を見つけるのが検証の目的であり

それがどこに隠れているかわからないので、常に『見方』を変えながら何度も同じチャートを分析する事に意味があるわけです。

検証に関する質問で、よく遥か昔のヒストリカルデータも取らないと

母数が集められないのでは？ということもよく言われていたのですが

その時皆さんに一律で僕が伝えているのは

『同じチャートを何度検証したっていい。視点を変えれば同じチャートでも前に気付かなかった違う発見が必ずある』ということです。

それに、一度検証したチャートで、見覚えがあるものを色んな角度から観察するわけですから

次に実際動いているチャートを見た時に、その経験から来る既視感が

チャートの値動きに対する「先の分からない不安」を解消してくれる事にも繋がります。

最初はピンと来ないかもしれませんが、とにかく観る回数を重ねることによって

そこから得られる情報はどんどん増えていくのです。

その感覚を楽しみながら、過去のチャートをひたすら見て行くというのも

技術の向上に役立ちますので、是非前向きに取り組んでみてくださいね。